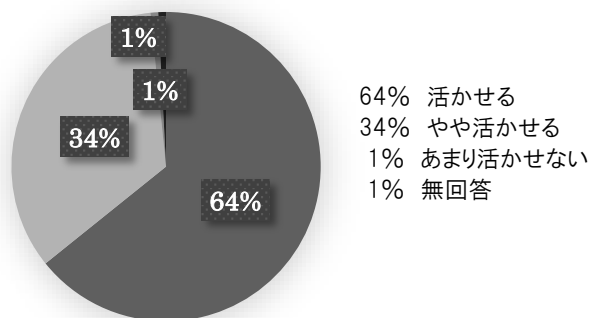
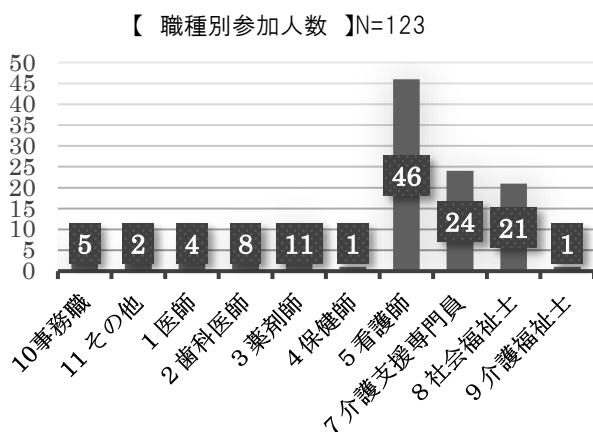


<北サポ通信>令和元年 10 月号

食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋などと申しますが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。日頃は大変お世話になっております。北サポでは、「研修の秋」となりそうです。

平成 31 年 4 月から令和 3 年までの活動の 3 つの柱（①多職種の「顔の見える関係」から「ものを言える関係」への取組み②入退院支援の円滑化：手引きによる支援の充実③市民啓発：人生会議について）を具体的に進めております。②の入退院支援の円滑化については、まず、在宅医療・介護連携相談支援室北ブロックで「大阪府入退院支援の手引き」に関する多職種研修会を開催し参加人数は 123 名、北区からは 35 名参加されました。活発な意見交換が行われ、研修会後も同職種、他職種で名刺交換される姿が見受けられました。今後もこのような多職種研修会を望む声も挙がっています。成果について以下の抜粋したアンケート結果をご覧ください。続いて、北区の病院看護部を訪問し入退院支援に関する多職種研修会について意見交換を致しました。その結果、住友病院（9 月）、北野病院（12 月）、行岡病院（未定）において多職種研修会を共同で開催することになりました。加納総合病院では院内看護師で入退院支援に関する研修を開催され北サポも参加しています。済生会中津病院は従来から看護部が実践されている多職種研修会を継続することになっています。大阪中央病院、桜橋渡辺病院は今後に向けて検討中です。①、③については北区在宅医療・介護連携推進委員会からの多職種ワーキンググループ、市民啓発ワーキンググループにおいてグループ会議が開催され今後の活動について意見交換が出来ました。活動は無理をせず継続できることに配慮しながら内容を充実させ多職種の関係作りに発展できるように関わっていく所存です。

【 研修内容から今後の退院支援へ・活用意欲】



「【自分らしく住み慣れた場所で最後まで】全ての事業で 1 人の生活を支える」を実現するために頑張ります。どうぞ、お気軽に北サポをご活用ください。